

2020/07/06（月）

朝の礼拝

聖書 マルコによる福音書4章8節（新約聖書66頁）

8 また、ほかの種は良い土地に落ち、芽生え、育って実を結び、あるものは三十倍、あるものは六十倍、あるものは百倍にもなった。」

英和の“たね”

植物は種が発芽して成長し、花を咲かせ実をつけます。そこからまた種を取り、植物は広がっていきます。

種と言え、例えばハンバーグを作る時に挽肉やタマネギ、調味料を混ぜて成形したものを“ハンバーグのたね”といいますね。また、マジクショーなどで「たねも仕掛けありません」と言って、手品を披露して驚かされますが、やはり“たね”はありますね。

英和にも“たね”があります。英和は、英和生の皆さんが「愛と奉仕」という花を咲かせ、実をつけるために建てられた学校です。ですから“礼拝と学校生活”が英和の種です。

大地を耕し、汗を流し、ふかふかの苗床を苦勞して作り、一粒、一粒丹念に種を植えて土を被せた後、毎日毎日ただじっと眺めては芽を出すのを待つのはとても楽しみです。一つの種が発芽する瞬間の喜びは感動のなにもものでもありません。

もうすぐ定期試験です。まさに皆さんの学びが発芽する瞬間です。本年度は誰もがとても苦勞しただけに、より一層実りが楽しみです。

（しばらく黙祷しましょう）

祈祷 祈りましょう

わたしたちを愛し、励まされる主よ。梅雨に入り各地で豪雨が続いています。九州各地、特に熊本では豪雨によって河川が決壊し、また山崩れによって被災された方々がいます。熊本地震によってすでに避難生活をされている方々はさらに困難な生活を強いられています。どうか一時でも早く必要な支援が与えられますようにお祈りします。

また、長い臨時休校中も、あなたの導きのもとに英和生が学び続けられたことを感謝します。どうか喜びをもって期末試験に臨むことができますようにお導きください。今日一日もすべてをあなたに委ね、よき学びの内に過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いします。アーメン